

# 農作業特報

黒 部 市  
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

育苗管理は、天候の変化に応じて適切な温度管理やかん水を徹底し、活力の高い苗に仕上げましょう。また、コシヒカリの田植えは5月15日を中心に行うとともに、植付本数や植付深さ、田植え後の水管理に注意し、初期分けつの発生を促しましょう。

## 1 育苗期後半の管理

- かん水は1日1回、早朝に行うのが基本です。夕方のかん水はハウス内の温度を下げるので避けましょう。ただし、葉が巻くほど乾いた場合は、適宜かん水して下さい。
- ハウス内の温度は20～25℃を目標に、こまめに換気しましょう。特に晴天の場合は、温度が急激に高くなるので注意して下さい。田植えの1週間前からは夜間もハウスのすそを開け、外気に慣らしましょう。
- 4月下旬以降の播種は気温が上昇し、苗が長くなりやすいので、夜間も外気温が10℃以上の場合は、ハウスを開けましょう。

## 2 代かき

- 代かきから田植えまでの日数が長いと、除草剤の散布前に雑草の生育が進んでしまうため、十分な除草効果が得られない場合があります。代かきは田植えの3～4日前に計画的に行いましょう。
- 代かきは少なめの水で行い、稲わら等をしっかり鋤き込みましょう。また、代かき後の濁り水は水田外へ流さないようにして下さい。
- 代かき時に、水田から基肥一発肥料などの被覆殻が流出しないように注意しましょう。

## 3 苗箱施薬

- 一般：Dr. オリゼフェルテラ粒剤
- 紋枯病対策：ルーチンエキスパート箱粒剤
- 使用時期：田植え3日前～当日

使用量：1箱当たり50g（20箱当たり1袋＝1kg）

使用方法：苗に付いた薬剤を払い落とす後、軽く散水する

※ 水稻育苗後に、ハウス内で野菜などを栽培する場合は、ハウスから苗を搬出してから、苗箱施薬剤を施用しましょう。

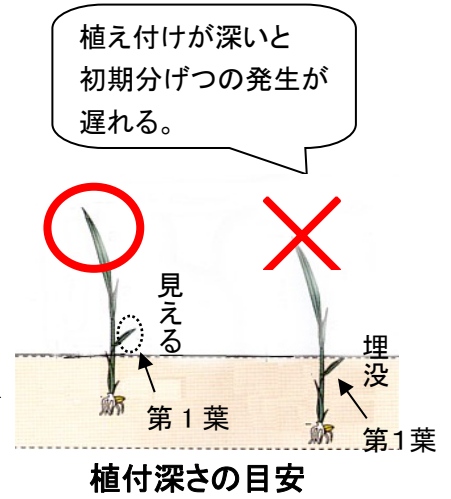


除草剤と間違わない  
ようラベルを確認！

## 4 田植え

- 田植時期（コシヒカリ）：平場 5月15日を中心  
山手 5月10日頃から
- 植付株数：穂数を確実に確保するため、  
「コシヒカリ」、「てんたかく」、  
ともに70株植えを徹底する。
- 植付本数：3～4本／株
- 植付深さ：3cm程度
- 基肥：土壌条件に応じ適正な基肥量を厳守

第1葉は埋没させず、  
見えるように植える



## 5 田植え後の水管理

- 田植え後3日程度は、苗が水没しない程度のやや深水にして、植え痛みを防ぎましょう。低温や強風時もやや深水で苗を保護して下さい。
- 活着後は、日中止水、浅水管理で初期分けつの発生を促しましょう。

## 6 水田雑草防除

### 【効果的な除草剤の使い方】

- 代かきから田植えまでの期間は長くしない。
- 除草剤の散布は遅れずに計画的に行う。
- 田面が露出しないよう、5cm程度の深水状態で散布する。
- 除草剤散布後7日間は止め水とし、落水やかけ流しをしない。
- 田面の均平や畦畔からの漏水防止に留意し、除草効果を持続させるようにする。

農薬は使用基準を  
守って使用し、栽培  
履歴をしっかり記帳  
しましょう！

### 【除草剤散布の目安】 ※印は「やまだわら」には使用不可

